

2019年12月 IR説明会

— 2020年3月期第2四半期決算と今後の施策について —



株式会社ナック 東証一部 9788

目次



- 1. 第2四半期の実績
- 2. 通期業績予想と施策
- 3. 配当方針
- 4. 補足資料

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが 現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また 新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、 実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。



1. 第2四半期の実績



連結損益計算書



	'20 2 □ U U	上期記	十画比	前年同	別期比
	'20. 3 月期 上期実績	'20. 3 月期 上期計画	達成率	'19. 3 月期 上期実績	増減率
売 上 高	41,690	44,700	93.3%	37,835	+ 10.2 %
売 上 総 利 益	15,858	-	-	15,748	+ 0.7 %
(売上総利益率)	38.0 %	-	-	41.6 %	▲ 3.6 pt
版 管 費	16,087	-	-	16,952	▲ 5.4 %
営 業 利 益	▲ 229	▲ 1,150	-	▲ 1,204	-
(営業利益率)	▲ 0.6 %	▲ 2.6%	-	▲ 3.2 %	+ 2.6 pt
営 業 外 損 益	4 7	-	-	1 6	-
経常利益	▲ 277	1 ,150	-	▲ 1,220	-
特別損益	▲ 22	-	-	1 0	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 700	▲ 950	-	▲ 999	-

1

セグメント別:売上高



	'20. 3 月期	上期記	十 画比	前年同	司期比
	上期実績	'20. 3 月期 上期計画	計画比	'19.3月期 上期実績	前年同期比
クリクラ事業	6,570	6,600	A 30	6,925	▲ 354
レンタル事業	7,311	7,200	+ 111	7,145	+ 166
建築コンサルティング事業	2,584	2,700	▲ 116	2,427	+ 156
住 宅 事 業	20,494	22,500	▲ 2,006	16,860	+ 3,634
美容・健康事業	4,752	5,700	▲ 948	4,494	+ 258
消去調整他	▲ 22	-	▲ 22	▲ 17	A 5
合 計	41,690	44,700	▲ 3,010	37,835	+ 3,855

1 セグメント別:営業利益

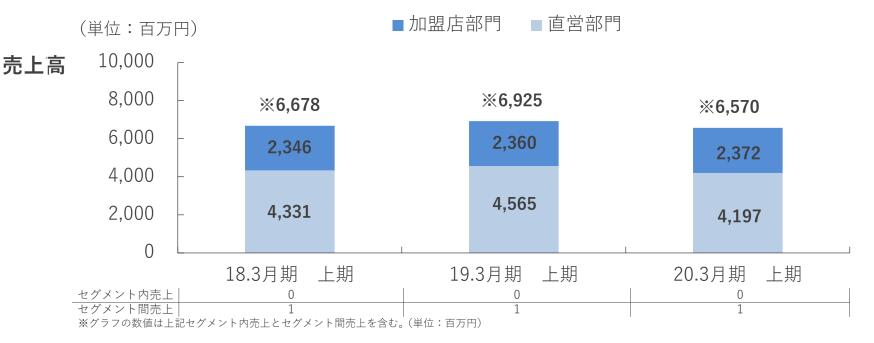


	700 2 E #B	上期言	十画比	前年同	司期比
	'20. 3 月期 上期実績	'20. 3 月期 上期計画	計画比	'19.3 月期 上期実績	前年同期比
クリクラ事業	302	110	+ 192	458	▲ 156
	(4.6 %)	(1.7 %)	(+ 2.9 pt)	(6.6 %)	(+ 2.0 pt)
レンタル事業	945	710	+ 235	946	▲ 1
	(12.9 %)	(9.9 %)	(+ 3.1 pt)	(13.3 %)	(▲ 0.3 pt)
建築コンサルティング事業	252	280	▲ 27	197	+ 55
	(9.8 %)	(10.4 %)	(▲ 0.6 pt)	(8.1 %)	(+ 1.6 pt)
住 宅 事 業	▲ 1,088	▲ 1,490	+ 401	▲ 2,195	+ 1,106
	(▲ 5.3 %)	(▲ 6.6 %)	(+ 1.3 pt)	(▲ 13.0 %)	(+ 7.7 pt)
美容・健康事業	▲ 94	▲ 120	+ 25	▲ 99	+ 4
	(▲ 2.0 %)	(▲ 2.1 %)	(+ 0.1 pt)	(▲ 2.2 %)	(+ 0.2 pt)
全社費用等	▲ 546	▲ 640	+ 93	▲ 512	▲ 33
合 計	▲ 229	▲ 1,150	+ 920	▲ 1,204	+ 975
	(▲ 0.6 %)	(▲ 2.6 %)	(+ 2.0 pt)	(▲ 3.2 %)	(+ 2.6 pt)

[※] カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

1 セグメント別業績(1)クリクラ事業



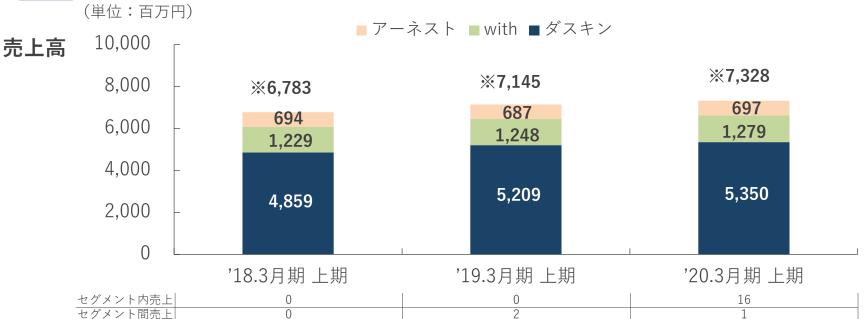






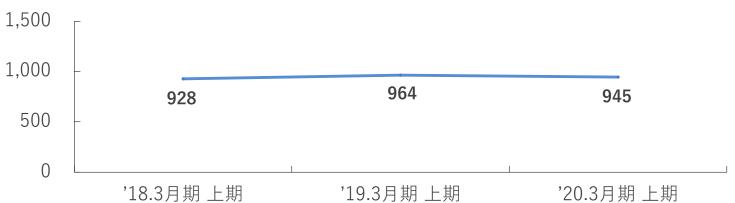
セグメント別業績(2)レンタル事業





※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位:百万円)







セグメント別業績(3)建築コンサルティング事業



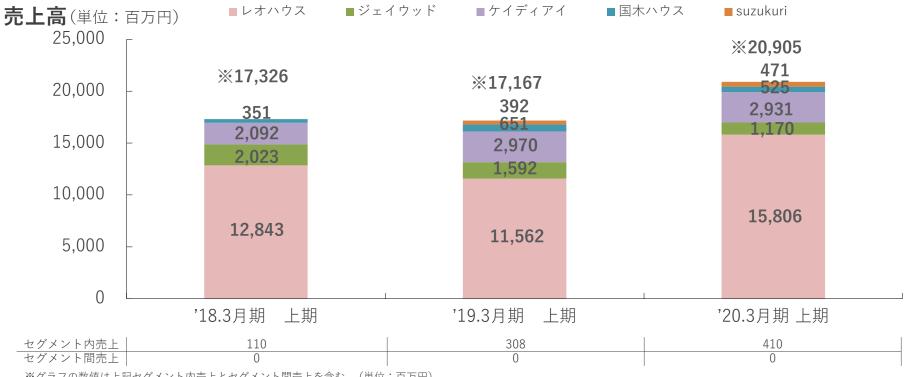


※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位:百万円)



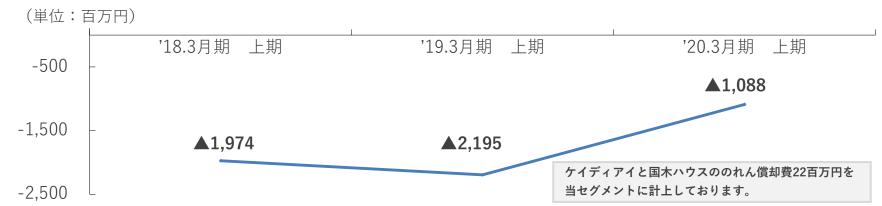
セグメント別業績(4)住宅事業





※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位:百万円)

営業利益





セグメント別業績(5)美容・健康事業



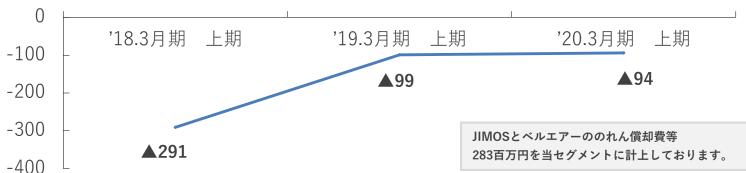
(単位:百万円)





※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位:百万円)

(単位:百万円) 営業利益





2020年3月期 上期:連結貸借対照表



(単位:百万円)

								(— — · —))
				2019年 9月末	構成比	2019年 3月末	構成比	増減額
流	動	資	産	30,499	63.1 %	31,575	63.6 %	▲ 1,076
有	形固	定資	産	11,319	23.4 %	11,457	23.1 %	▲ 137
無	形固	定資	産	2,238	4.6 %	2.549	5.1 %	▲ 311
投	資その	他の資	産	4,205	8.7 %	3,908	7.9 %	+ 296
古	定	産産	計	17,763	36.7 %	17,916	36.1 %	▲ 152
繰	延 資	産 合	計	106	0.2 %	134	0.3 %	▲ 27
資	産	合	計	48,370	100.0 %	49,626	100.0 %	▲ 1,256
流	動	負	債	21,988	45.5 %	23,410	47.2 %	▲ 1,422
固	定	負	債	7,500	15.5 %	6,055	12.2 %	+ 1,444
負	債	合	計	29,488	61.0 %	29,465	59.4 %	+ 22
株	主	資	本	19,664	40.6 %	20,950	42.2 %	▲ 1,286
その	の他の包括	舌利益累言	十額	▲ 782	▲ 1.6 %	▲ 789	▲ 1.6 %	+ 6
純	資 酉	音 合	計	18,881	39.0 %	20,161	40.6 %	▲ 1,279
負	債 · 純	資 産 合	計	48,370	100.0 %	49,626	100.0 %	▲ 1,256

主な増減要因

■ 流動資産 : 未成工事支出金 + 1,060 販売用不動産 ▲ 1,365 受取手形・売掛金 ▲ 1,019

■ 固定資産 : のれん ▲ 252

■ 流動負債 : 買掛金 ▲ 2,461 未成工事受入金 + 1,921

■ 固定負債 : 長期借入金 + 1,650

自己資本比率 : 39.0 %



2020年3月期 上期:連結キャッシュフロー



(単位:百万円)

	'20. 3 月期 上期実績	'19. 3 月期 上期実績	'19. 3 月期 通期実績
1.営業活動によるCF	▲ 693	▲ 2,476	1 2,200
2.投資活動によるCF	▲ 927	▲ 170	▲ 835
3.財務活動によるCF	1,059	5,283	4,941
現金及び現金同等物の増減額	▲ 561	2,636	1,906
現金及び現金同等物の期首残高	9,167	7,261	7,261
新規連結に伴う現金及び現金同 等物の増加額	-	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	8,606	9,898	9,167
減価償却費	686	782	1,546

当期の主な増減要因

■ 営業活動:未成工事受入金の増加1,921百万円 売上債権の増加1,019百万円 減価償却費686百万円

仕入債務の減少2,559百万円 法人税等の支払728百万円 未払金の減少620百万円

■ 投資活動:有形固定資産の取得による支出421百万円 投資有価証券の取得による支出330百万円

■ 財務活動:長期借入による収入3,000百万円

長期借入金の返済による支出1,060百万円 配当金の支払額586百万円



2. 通期業績予想と施策

2020年3月期 連結業績予想



				2020年3月期 予想	2019年3月期 実績	前期比
売	上		高	100,200	89,111	+ 12.4 %
営	業	利	益	2,200	2,037	+ 8.0 %
経	常	利	益	2,150	2,081	+ 3.3 %
	社株主に 期 純			1,000	798	+ 25.3 %
年	間	四己	当	36 円	34 円	-
Е	Р		S	44.63 円	40.32 円	+ 4.31 円

[≫] 住宅事業の建て直しを軸に、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益ともに増加を見込む。

]2020年3月期 セグメント別:売上高予想



売	Ŀ	高	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績	増減率
ク リ ク	ラー事	事 業	13,400	13,179	+ 1.7 %
レンタ	ル	業	14,500	14,394	+ 0.7 %
建築コンサル	·ティンク	が事業	5,800	5,459	+ 6.2 %
住 宅	事	業	55,000	46,318	+ 18.7 %
美 容 •	健康	事業	11,500	9,801	+ 17.3 %
消 去	調整	他	-	▲ 41	-
合		計	100,200	89,111	+ 12.4 %

2

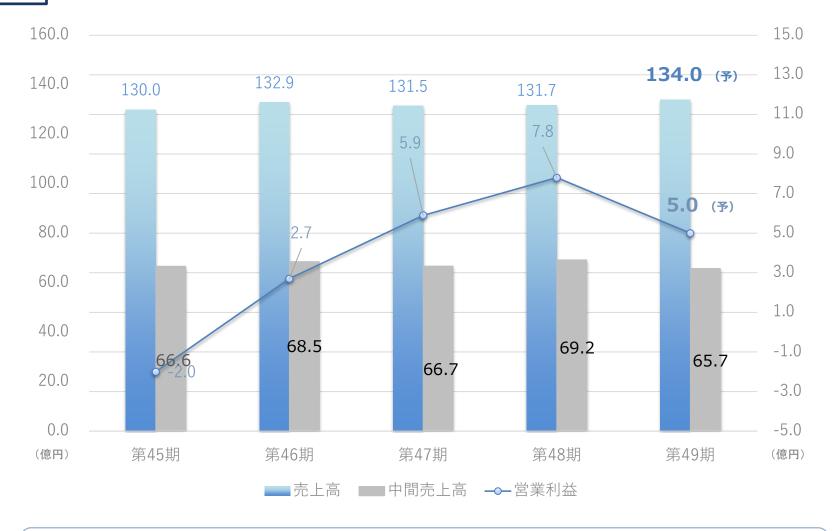
2020年3月期 セグメント別:営業利益予想



営 業 利	益	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績	増減率
クリクラ事	業	500 (3.7 %)	788 (6.0 %)	▲ 36.6 % (▲ 2.3 pt)
レーンタール事	業	1,500 (10.3 %)	1,998 (13.9 %)	▲ 24.9 % (▲ 3.5 pt)
建築コンサルティング	事業	800 (13.8 %)	754 (13.8 %)	▲ 6.1 % (+ 0.0 pt)
住 宅 事	業	550 (1.0 %)	▲ 694 (▲ 1.5 %)	(+ 2.5 pt)
美容・健康事	業	100 (0.9 %)	255 (2.6 %)	▲ 60.9 % (▲ 1.7 pt)
全 社 費 用 (新規・M&Aを含む)	等	▲ 1,250	▲ 1,064	-
合	計	2,200 (2.2 %)	2,037 (2.3 %)	+ 8.0 % (^ 0.1 pt)

2 クリクラ事業





【市場環境】

宅配水市場は、顧客獲得競争が一層激しさを増し、宅配料金値上げに伴うワンウェイ業者の収益性の悪化が懸念されるなど、厳しい市場環境が続いております。



第49期下期施策 クリクラ事業



>>重点施策:顧客単価の向上と販売促進



クリクラ[宅配水]

クリクラ事業では、1月にクリクラボトルの価格改定を行うことに加え、同じく1月より新型サーバーの取扱開始により顧客単価の向上を図ります。

また、2018年10月より販売を開始した自社製次亜塩素酸水溶液による除菌・消臭システム「ZiACO(ジアコ)」の販売促進、生産キャパシティの増加等に注力します。





2

レンタル事業





【市場環境】

レンタル事業における市場環境につきましては、高齢化世帯や単身世帯、共働き世帯の増加による家事支援サービスの市場規模拡大が予想されますが、参入障壁は低いため、異業種からの参入や価格競争が増加すると思われます。また、労働市場における人手不足への対処が大きな課題となっております。



第49期下期 施策 レンタル事業



>>重点施策:ダスキン事業の拡大



ダスキン[レンタル商品]

レンタル事業では、ダスキンFCのケアサービス5事業について、今期20拠点の取り扱いを行います。また、介護・福祉ビジネスにおいては介護保険の利用者を対象として介護用具のレンタルを行うダスキンヘルスレントを2店、介護リフォーム専門の店舗を6店舗展開します。

また、最大の課題である人材不足に対応すべく人材派遣業のノウハウを持つ株式会社バックスグループと設立した合弁会社を通じて、人員確保の達成に向けた取り組みを強化します。



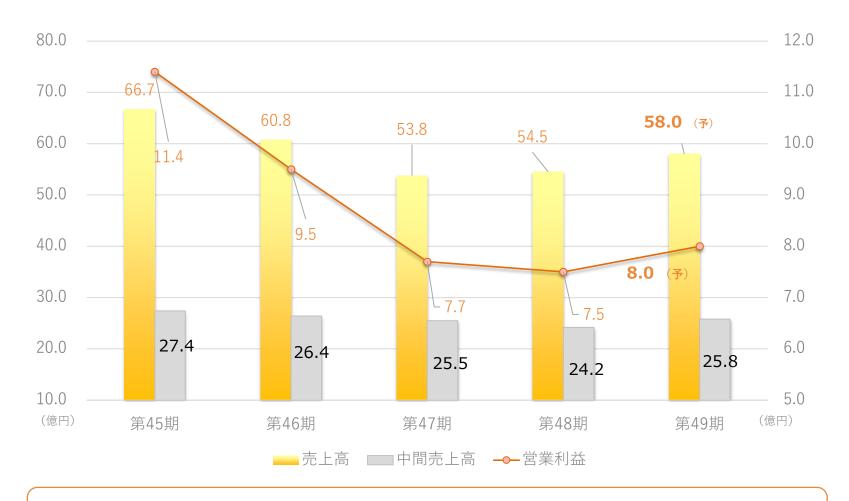




2

建築コンサルティング事業





【市場環境】

建築コンサルティング事業における地場工務店市場は、慢性的な職人不足や世帯数の減少といった下押し要因により投資抑制基調が続いております。



第49期下期 施策 建築コンサルティング事業



>>重点施策:ノウハウ販売の新商品と再生可能エネルギー商材の販売促進



建築コンサルティング[工務店支援]

建築コンサルティング事業では、ノウハウ販売でオリジナル新商品の開発を進め、建築業界のかかえる困りごとに応じた商品提案と継続的支援が可能な環境を整えます。 建築部資材販売では、国および自治体による省エネ施策に軸足を置く住宅市場への太陽光発電、蓄電池を中心とした再生可能エネルギー商材の販売促進活動を強化します。





2 住宅事業





【市場環境】

住宅市場につきましては、国土交通省発表の2019年8月度住宅着工統計で、持ち家が11ヶ月ぶりに減少に転じ、貸家や分譲住宅を含む全体では7月以降、前年同月比で2ヶ月連続の減少となるなど、消費増税駆け込み需要の一巡によって弱い動きとなっております。



第49期下期 施策 住宅事業



>>重点施策:経営資源の適正配分を徹底

レオハウス

レオハウス[注文住宅]

住宅事業は、注文住宅を手掛ける子会社における店舗 統合やダウンサイジングを更にすすめ、販売費および 一般管理費の効率的運用と経営資源の適切な配分により、早期黒字転換を目指します。

住宅事業の中核子会社レオハウスでは、OB顧客へのリフォーム施策等で今期売上の積み上げを図ります。

住宅事業における売上高・営業利益の比較

(単位:百万円)

(単位: 棟数)

	第49期上期	第48期上期	増減
売上高	20,494	16,860	+ 3,634
営業利益	1 ,088	▲ 2,195	+ 1,106

レオハウスにおける受注・完工引渡数の比較

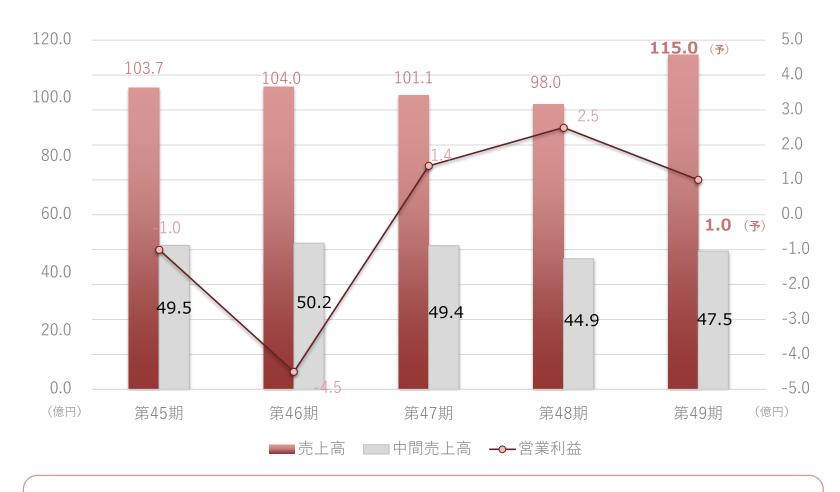
	第49期上期	第48期上期	増減
受注数	789	1,007	▲ 218
完工引渡数	740	427	+ 313
受注残	969	1,317	▲ 348





美容・健康事業





【市場環境】

通信販売における市場環境については、日本国内の消費者向け電子商取引市場規模が前年比9.1%増の16.5 兆円まで拡大しております。また、企業間電子商取引や個人間電子商取引においても市場規模が急速に拡大しており、一層の商取引電子化が予想されます。



第49期下期 施策 美容・健康事業



>>重点施策:JIMOSの自社ECサイト再開に向けた準備

JIMOSにおいて、12月中のECサイト再開に向けた準備に注力いたします。







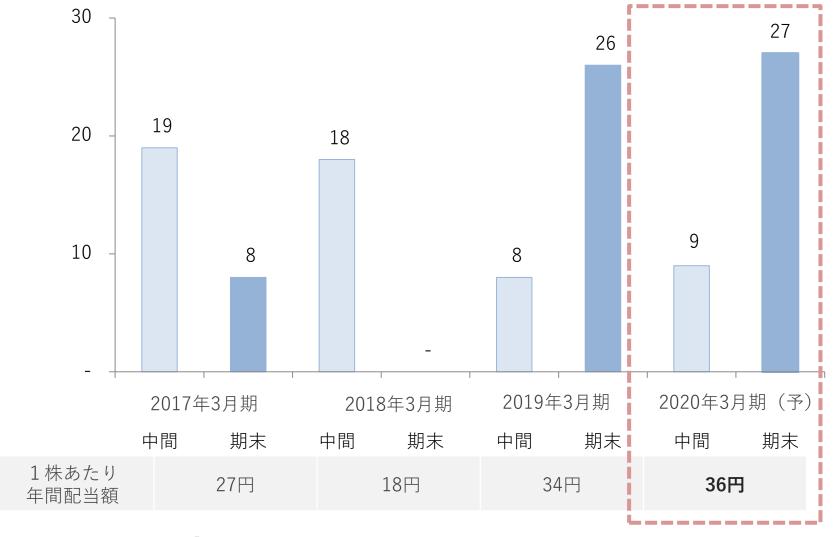
3. 配当方針

4

配当方針:純資産配当率(DOE) 4%かつ配当性向100%以内



(単位:円)



- ≫ 配当方針の「連結純資産配当率4%かつ配当性向100%以内」を基準に2020年3月期年間配当額は36円の予定。
- ≫ 2019年3月期より、中間・期末の支払割合を従来の「1:1」から「1:3」の比率に変更。

